

腫瘍切除術や剖検を施行した方へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
本研究の対象者に該当する方で、ご自身の診療情報等を研究目的に利用して欲しくない場合には、恐れ入りますが下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

2024年 1月 11日

① 対象者	2010年4月～2023年6月までに原発性小腸癌で腫瘍切除術や病理解剖を施行した方			
② 研究課題名	次世代シーケンスによる小腸癌の発癌メカニズムの解明			
③ 実施予定期間	倫理委員会承認後 ～ 2025年3月			
④ 実施機関	藤枝市立総合病院			
⑤ 研究代表者	氏名	瀬藤 光利	所属	浜松医科大学 細胞分子解剖学講座
⑥ 当院の研究代表者	氏名	石川 励	所属	病理診断科（非常勤）
⑦ 使用する検体・データ	資料（組織）、臨床情報			
⑧ 目的	悪性腫瘍の病理学的・分子病理学的特徴と臨床的な特徴との関連を同定することを目的とする。			
⑨ 方法	後ろ向き観察研究である。 2010年4月～2023年6月に診断された、検査時点で未治療であった原発性空腸・回腸癌の患者様の病理標本を用いた事後観察の研究である。 対象となる症例の臨床情報、病理診断に関わる情報を収集する。 通常用いられているホルマリン固定・パラフィン包埋の病理標本を利用する。腫瘍中心部は避け、辺縁部や切除断端から収集する。原則として、浜松医科大学腫瘍病理学講座に検体を貸し出し、解析する。 作業終了後は、速やかに検体を藤枝市立総合病院へ返却する。 研究の過程で得られた情報について、患者に直接還元されることはない。			
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2023年11月28日		
	病院長承認日	2023年11月28日		
⑪ 公表	学術論文や学術集会での発表の形で公表する。			
⑫ プライバシー	提供を受けた個人情報を含む試料・情報は、浜松医科大学および藤枝市立総合病院の研究責任者が責任をもって管理し、付帯医療情報などを得た後は、特定の個人を容易には識別できない状態で保管する。			
⑬ 知的財産権	本研究により得られた結果、データ、知的財産権は、浜松医科大学に帰属する。			
⑭ 利益相反	本研究の計画・実施または報告において、研究の結果及び結果の解釈に影響を及ぼすような「起こり得る利益の衝突」はない。また、研究の実施が研究対象者の権利・利益を損ねることはない。			
⑮ 問い合わせ	連絡先	病理診断科	電話	054-646-1111
	上記連絡先にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。 ※情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、恐れ入りますが2025年3月31日までにご連絡をお願いします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。